



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月5日

上場会社名 株式会社ケアサービス 上場取引所 東
 コード番号 2425 URL <https://www.care.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 俊晴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 木高 毅史 (TEL) 03-5753-1170
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,454	5.0	89	108.5	93	108.0	53	126.5
2024年3月期第1四半期	2,337	3.6	42	16.9	44	20.3	23	△55.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 56百万円(79.5%) 2024年3月期第1四半期 31百万円(△49.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	14.09	—
2024年3月期第1四半期	6.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,925	2,638	67.2
2024年3月期	3,857	2,642	68.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,638百万円 2024年3月期 2,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,149	5.3	640	23.5	653	17.4	437	15.8	115.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社ケアサービス
ヒューマンキャピタル
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	4,200,000株	2024年3月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	406,780株	2024年3月期	406,780株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	3,793,220株	2024年3月期1Q	3,793,239株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の持ち直しや、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の拡大など、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な海外情勢や国際的な金融市場の変動を背景とした物価高騰の長期化など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

介護業界におきましては、高齢化率が年々上昇し、介護サービスの需要はますます高まっておりますが、サービスを担う人材を適時適切に確保することは非常に難しく、人件費及び採用コストの上昇が続いており、介護人材の採用と定着が引き続き介護事業者の大きな課題となっております。

このような状況の下、当社グループは「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスを提供するための経営基盤の構築を図るとともに事業拡大に努めてまいりました。

経費や業務の見直し等によるコスト削減と、研修・教育の強化、将来を担う社員の人材育成や従業員の給与水準の引き上げ等、各サービスの品質向上に繋がる投資を継続するとともに、地域のニーズに適合したサービス展開と、事業所の商圏エリア及び顧客基盤を活用した事業の拡大を図るため、新たに組織体制を整備いたしました。

また、人的資本に関する経営判断を迅速かつ柔軟に実行するため、株式会社ケアサービスヒューマンキャピタルを解散し、2024年4月4日付で清算、求人採用部門を本社に集約しました。

国内既存事業所数につきましては、居宅介護支援1事業所開設、デイサービスセンター1事業所を閉鎖し、合計113事業所となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,454百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は89百万円（前年同四半期比108.5%増）、経常利益は93百万円（前年同四半期比108.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は53百万円（前年同四半期比126.5%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

(在宅介護サービス事業)

当事業におきましては、デイサービス、訪問入浴において利用件数、売上ともに堅調に推移しました。2024年4月、東京都大田区に居宅介護支援サービス事業所「居宅支援 西蒲田」を新規開設いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,774百万円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益は132百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

(シニア向け総合サービス事業)

当事業におきましては、エンゼルケアサービスにおいて、教育体制の強化とサービス品質向上の取り組みの継続により葬儀社、互助会等からの需要が拡大しており、施行件数、売上とも計画通り推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は679百万円（前年同四半期比13.7%増）、セグメント利益は132百万円（前年同四半期比31.8%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より67百万円増加し、3,925百万円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,151百万円(前連結会計年度末3,076百万円)となり、74百万円増加しました。現金及び預金80百万円の増加、売掛金5百万円の減少が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、773百万円(前連結会計年度末780百万円)となり、7百万円減少しました。建物(純額)2百万円の減少、のれん3百万円の減少が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,000百万円(前連結会計年度末924百万円)となり、75百万円増加しました。未払費用268百万円の増加に対し、未払法人税等27百万円の減少、賞与引当金97百万円の減少、流動負債その他66百万円の減少が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、286百万円(前連結会計年度末290百万円)となり、3百万円減少しました。退職給付に係る負債4百万円の増加、固定負債その他7百万円の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,638百万円(前連結会計年度末2,642百万円)となり、4百万円減少しました。親会社株主に帰属する当期純利益の計上による53百万円の増加に対し、配当金の支払いによる60百万円の減少が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,522,981	1,603,422
売掛金	1,471,940	1,466,531
その他	81,748	81,508
貸倒引当金	△259	△233
流動資産合計	3,076,410	3,151,228
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	149,691	147,543
その他（純額）	176,125	177,094
有形固定資産合計	325,816	324,637
無形固定資産		
のれん	8,233	5,163
その他	62,430	59,844
無形固定資産合計	70,663	65,007
投資その他の資産		
敷金及び保証金	195,008	194,505
その他	189,524	189,779
貸倒引当金	△42	△120
投資その他の資産合計	384,490	384,164
固定資産合計	780,970	773,809
資産合計	3,857,381	3,925,037

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,982	138,965
未払費用	275,561	543,968
未払法人税等	79,798	52,144
賞与引当金	130,186	32,546
その他	299,021	232,516
流動負債合計	924,550	1,000,141
固定負債		
退職給付に係る負債	222,738	227,232
その他	67,375	59,546
固定負債合計	290,114	286,779
負債合計	1,214,664	1,286,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	2,443,593	2,436,363
自己株式	△148,247	△148,247
株主資本合計	2,638,546	2,631,316
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,170	6,800
その他の包括利益累計額合計	4,170	6,800
純資産合計	2,642,717	2,638,116
負債純資産合計	3,857,381	3,925,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	2,337,973	2,454,134
売上原価	2,106,584	2,159,257
売上総利益	231,389	294,877
販売費及び一般管理費	188,455	205,373
営業利益	42,933	89,503
営業外収益		
受取保険金	4,833	92
補助金収入	2,310	3,476
助成金収入	1,214	444
その他	824	550
営業外収益合計	9,183	4,563
営業外費用		
支払利息	837	242
為替差損	6,252	558
その他	250	143
営業外費用合計	7,339	944
経常利益	44,776	93,123
特別損失		
事業所閉鎖損失	-	2,927
特別損失合計	-	2,927
税金等調整前四半期純利益	44,776	90,195
法人税等	21,175	36,734
四半期純利益	23,601	53,461
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,601	53,461

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	23,601	53,461
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,645	2,629
その他の包括利益合計	7,645	2,629
四半期包括利益	31,247	56,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,247	56,090

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	在宅介護 サービス事業	シニア向け総合 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,740,029	597,944	2,337,973	—	2,337,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,740,029	597,944	2,337,973	—	2,337,973
セグメント利益	109,339	100,774	210,113	△167,179	42,933

(注) 1. セグメント利益の調整額△167,179千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△167,179千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	在宅介護 サービス事業	シニア向け総合 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,774,320	679,813	2,454,134	—	2,454,134
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,774,320	679,813	2,454,134	—	2,454,134
セグメント利益	132,757	132,813	265,570	△176,067	89,503

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,067千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△176,067千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	31,889千円	31,338千円
のれんの償却額	3,891	3,069